

第79回国民スポーツ大会スケート競技会(スピード)

監督会議資料

1 競技運営に関する確認事項

- (1) 競技規則について
本大会実施要項および(公財)日本スケート連盟スピードスケート並びにシングルトラックスピードスケート競技特別規則に基づいて実施し、使用するリンクは標準シングルトラックCタイプとする。
- (2) 競技日程について
 - ①競技は原則タイムテーブルどおり行い、競技の開始時刻は早めない。
※天候状況などによりタイムテーブルを変更する場合は事前に通告し、緊急の監督会議を開催することもある。
 - ②競技開始5分前と2分前に通告する。
 - ③競技が遅れた場合は、随時次の競技種目の開始時刻を通告する。
 - ④整氷時間は、全面30分・コース20分とする。
- (3) プログラムの訂正について
プログラム中に誤字・脱字がある場合は、「プログラム訂正届」に記入し、監督会議終了後に受付に提出すること。
- (4) 選手の交代(変更)・棄権について
 - ①参加申込をしていない選手と交代する場合
本大会実施要項に定める様式により提出すること。なお、選手交代は(公財)日本スケート連盟スピード競技規則運用マニュアルに定める事由に準じる。
 - ②補欠選手との変更、または棄権する場合
「補欠起用届」・「棄権届」に必要事項を記入し、その種目の競技開始1時間前までに記録本部へ提出すること。
- (5) リレーオーダーについて
 - ①予選は前日の14:00までに、決勝は前日の17:00までに「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、記録本部に提出すること。
 - ②提出後のオーダー変更については、各種目別リレー競技開始1時間前までに「リレーオーダー用紙」を再度記録本部へ提出すること。
- (6) 大会で使用する時計について
メインシステムはスリットカメラによる自動計時、バックアップシステムは手動計時とする。
- (7) 公式練習について
 - ①レース期間中の公式練習は都道府県区分を設けない。
 - ②リレー競技の公式練習は競技2日目及び競技3日目の競技終了後、通常の公式練習を行った後に、次の順及び時間で行う。
1月27日 少年女子 ⇒ 少年男子1組 ⇒ 少年男子2組 ⇒ 成年女子 ⇒
成年男子1組～2組 ⇒ 成年男子3組～4組 各15分間。
1月28日 少年女子 ⇒ 少年男子 ⇒ 成年女子 ⇒ 成年男子 各15分間。
※公式練習中は安全用具を装着することが望ましい。
- (8) スケートの脱着等について
 - ①スケートの脱着は、リンク内側の指定ベンチで行うこと。
※移動には競技運営棟地下通路を利用し、リンクの横断は禁止とする。

②ブレードケースやドリンクボトル、ジャージなどを氷上に置かないこと。

※必要に応じて専用のかごを使用すること。

(9) 招集・ブレードチェック・安全用具確認及びコース抽選について

①招集は、各距離競技開始20分前からとし、競技運営棟2階招集エリアで行う。

点呼を受けた際に、レースキャップを受け取り、レース終了後は直ちに同じ場所にある回収ボックスに返却すること。

②公式練習期間中にブレードチェックを実施していない選手は招集エリアにて随時受け付ける。

※予選の招集時までにはチェックを完了していない選手は出走不可（失格）となる。

③各種目の予選招集時に安全用具の所持確認を実施する。

※2種目以降の選手は免除する。

④安全用具の装着確認は各スタート地点での招集時に、リレー競技2走～4走はバックストレート控えゾーンで実施する。

※規定を満たさない選手は出走不可（失格）となる。各自の責任で装着しレースに臨むこと。

⑤コース抽選は、各種目のスタート地点内側アップレーンで行い、スタートレーンに並んだ時にアシスタントスターターが抽選棒を回収する。

(10) ウォーミングアップについて

①競技中のアップレーン使用については、当該距離出場者のみとする。

②レース前のウォーミングアップ時には、レースキャップを装着したヘルメットをかぶらないこと。ヘルメットの置き場はホームストレートの脱着カゴを利用すること。

③スタート・フィニッシュ地点付近の通過時は、係の指示に従うこと。

④リレー競技時は、第4走者がスタートするまで、他の組の選手は「スケート脱着場」で待機すること。係員の指示に従いホームストレートより氷上に上がること。

⑤バイク等の利用については、競技運営棟2階のバイク専用ルームを利用すること。

⑥トレーナー等のサポートは競技運営棟1階のコンディショニングルーム利用を推奨する。

(11) コーチングゾーンについて

①コーチングはバックストレートのコーチングゾーンで行うこと。

②氷上でのコーチングは禁止とする。

③スタート時、スタート地点から前後20mは立入禁止とする。

(12) リレーゾーンについて

①リレーゾーンは、ゾーン入口・ゾーン入口から5m地点・ゾーン出口に赤色のコーンを設置し区分する。

②リレー競技中、リレーゾーン内の外周は立入禁止エリアとする。

(13) 選手控室及び待機所・更衣室について

①選手控室は、競技運営棟2・3階控室を都道府県ごとに割り当てする。

②更衣室は、競技運営棟2階に男・女それぞれ設置する。

③貴重品等の管理は各自で行うこと。

④会場内のごみは分別して所定のごみ箱に入れること。

(14) 種目別表彰式について

リンクハウス食堂内の表彰会場で、1位から8位までの選手を対象に随時行う。

該当選手は、競技終了後、表彰のアナウンスがあるまで会場で待機し、速やかに表彰エリアに集合すること。

- (15) 競技記録について
- ①組み合わせおよび記録速報については SEIKO スポーツリンクを使用する。
 - ②公式リザルトは大会ホームページに掲示する。
 - ③着差判定画面(ゴルフフォト)を大会ホームページにて公開する。
- (16) 医療救護などについて
- ①会期中、救護所に医師・看護師・保健師を配置し、応急措置を行う。
 - ②AEDはリンクハウス救護所に設置する。
- (17) 無線機の使用について
- 競技役員が無線機（1ch、2ch）を使用する。会場で無線機を使用する場合は、他チャンネルを使用すること。
- (18) 抗議について
- 抗議は該当競技終了後 30 分以内に監督名、文書(任意様式)でレフェリーに提出する。
抗議の規則は ISU 一般規程 123 条を適用する。
<ISU123 条-4 (抗議の制限) -B>
抗議を受けつける・・・算術計算の場合のみ容認。
抗議を受けつけない・・・(R253～R262 条) の失格、レース規則違反に対する失格の有無に関するレフェリー、スターターの判定に対する抗議。
- (19) その他
- ①コーナーからのスタート時は、スタートラインからポイントを 4 ケ外す。
 - ②1 組に 9 名以上出走する場合は、2 列スタート方式とする。
 - ③各都道府県名を表すワッペン、シール等が落下しないよう万全を尽くすこと。
 - ④上体を起こした姿勢でのゴールや次ラウンド進出がほぼ決定後、レース中に上体を起こしての滑走等が無いよう各都道府県監督、コーチが指導すること。

2 会場運営について

- (1) 会場への入場について
- 会期中、開場は 4 日間とも午前 7 時 00 分とする。
- (2) 競技中の写真・ビデオ撮影について
- 報道員エリアでは、報道関係者及び事務局手配の記録撮影者以外の写真・ビデオ撮影はできない。また、報道員エリア以外の場所では、撮影可能とするが、フラッシュは禁止とする。
- (3) 宿泊・弁当・輸送について
- ①輸送については、シャトルバスのほかロープウェイを AD カードの提示により無料で利用することができる。最新の時刻表等、詳細を大会ホームページに掲載するので確認すること。
 - ②弁当の引き換えは、リンクハウス食堂内の弁当引換所で行う。引き換え時間は、11時から14時とし、空箱は15時まで弁当引換所にて回収する。
 - ③宿泊についての問い合わせは、各宿舎に直接問い合わせること。
- (4) 取材について
- インタビューについては、表彰会場にあるインタビューエリアで行うこと。インタビューエリア以外で個別に取材する場合は、監督に許可を得たうえで行うよう報道に通知をしてあるので各県対応すること。

3 ドーピングに関する事項について 別紙のとおり

第 79 回国民スポーツ大会冬季大会におけるドーピング検査及び教育について

公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

1. ドーピング検査について

以下の内容について、予め競技者及び関係者への周知をお願いいたします。

【同意書の常時携帯について】

競技者は、国スポ期間中において、常に、競技者の記名がなされている「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」（以下「国スポ同意書」という。）を携帯することが求められています。なお、競技者が 18 歳未満の場合は、保護者（親権者）が国スポ同意書の内容を確認の上、国スポ同意書への記名が必須となります。

※「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」の所持状況について、所持率を各所属都道府県および競技・種目別に公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「JSP0」という。）と情報共有しております。
なお、国スポ同意書は JSP0 の HP からダウンロードできます。

<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/doping/tabid539.html>

JSP0 HP⇒国民スポーツ大会 ⇒国スポドーピング検査 ⇒国スポドーピング検査同意書



【ドーピング検査を受ける際の注意事項】

1. 全ての正式競技における全試合・全競技者を対象とし、具体的な対象競技、種目、日時、検体数等については事前に公表することなく実施されます。
2. 競技終了後もしくは表彰式終了後に検査対象競技者へ直接通告を行います。検査対象競技者本人を含め、競技者の関係者（監督、本部役員、引率者等）への事前通知は行われません。
3. ドーピング検査の通告を受けることを回避もしくは拒否した場合、アンチ・ドーピング規則違反となり制裁の対象となる可能性があります。
4. ドーピング検査を実施するに当たり、競技者本人を確認するために写真付身分証明証の提示が求められます。
身分証明書例：写真貼付済み国民スポーツ大会選手カード（裏面：国民スポーツ大会ドーピング検査同意書）、運転免許証、学生証（写真付）、社員証（写真付）等
5. 検査対象競技者は、18 歳以上の同伴者を 1 名帯同することが認められています。特に 18 歳未満の競技者の場合には、必ず 18 歳以上の同伴者を帯同することができるようご協力お願いいたします。
6. ドーピング検査は、競技会の一部であるため、検査対象競技者は、日本アンチ・ドーピング規程で定められた量・濃度の検体の提出および書類手続等が完了するまでは、いかなる理由（移動時間が迫っている等）においても検査手続の中断は原則として認められず、競技会が終了したとはみなされません。
7. 公共交通機関の運行が終了した場合など、競技会検査の対象となったことにより発生した、検査対象競技者及び同伴者の移動等に係る経費については、原則として検査対象競技者側の負担となります。ただし、国民スポーツ大会競技会検査実施要項*7-(7)に該当する場合の各指定区間の移動に係る経費については、公益財団法人日本スポーツ協会が負担します。

* 国民スポーツ大会競技会検査実施要項は、同意書裏面に印刷されています。

8. 検査対象競技者の関係者（監督、本部役員、引率者等）は、必要に応じ、宿舎における当該競技者の食事の確保等を宿舎へ相談してください。

ドーピング検査について不明な点がございましたら、以下まで直接ご連絡ください。

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構 検査部
〒112-0002 東京都文京区小石川 1-12-14 日本生命小石川ビル 4F
(TEL) 03-5801-0958 (FAX) 03-5801-0944 ※平日 10 時～16 時 30 分・FAX は 24 時間受付

2. アンチ・ドーピング教育について

開催基準要項細則において、「選手、監督、本部役員帯同のスポーツドクター、アスレティックトレーナーは、本大会又は冬季大会参加前の 1 年以内に日本スポーツ協会が指定するアンチ・ドーピング教育を受講した者であること」として参加資格が定められております。未受講の場合は、参加資格違反となりますのでご注意ください。

また、JADA HP には対象者に応じた「国スポ出場者及びサポートスタッフ向け教材」が公開されていますので、併せてご活用ください。

JADA HP : https://www.realchampion.jp/who/kokutai_education.html



【教育履歴確認書の常時携帯について】

上記「国スポ同意書」の様式を改定しております。同意書に「教育履歴」を併せて記載し、携帯するようにしてください。

アンチ・ドーピング教育について不明な点がございましたら、以下まで直接ご連絡ください。

公益財団法人日本スポーツ協会 国スポ推進部 国スポ課
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
(TEL) 03-6910-5808 ※平日 9 時 30 分～17 時 30 分

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ科学研究室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
(TEL) 03-6910-5806 (FAX) 03-6910-5819 ※平日 9 時 30 分～17 時 30 分・FAX は 24 時間受付